

福岡県警察第一機動隊からの報告の概要  
(10月5日14時34分までに受けたもの)

- 令和5年10月4日(水)、宮崎県えびの市所在陸上自衛隊霧島演習場内において福岡県警察本部警備部所属の機動隊員が拳銃を地面に落下させた際に、照準部品(密封線源を内蔵)を覆っているアルミフレームが破損した。
- 当該部品の破損状況を確認した結果、密封されている放射性同位元素(0.666ギガベクレルのトリチウム)のガスが容器外に漏えいしたと判断した。  
(注)トリチウムは水素の同位体で、放出される放射線は透過性及びエネルギーの低いベータ線であり、被ばくの影響はほとんどない。
- 現場にいた機動隊員に有意な被ばくはなく、周辺環境への影響もない。
- 以上の状況を踏まえ、放射性同位元素等の規制に関する法律第31条の2の規定に基づく報告事象(密封された放射性同位元素の破損に伴う漏えい)に該当すると判断し、10月5日13時07分に原子力規制庁へ報告した。

以上